

## 「沼田なららではの希望に満ちた

## 豊かな学びの実現」

今、社会は人口の減少や少子高齢化、情報化、国際化等が急速に進んでおり、教育にはそうした社会の変化に柔軟に対応しながら、しっかりと自立し、他と協調しながら自らの人生を切り開いて行く事の出来る、創造性やチャレンジ精神に溢れる人材の育成が強く求められております。

特に学びの土台を築く学校教育においては、子供達が将来に亘って豊かな人生を営んで行くために不可欠な学力・体力・道徳性を養うための充実した教育活動の他、いじめや不登校、情報モラル、生活習慣等の今日的課題の解決に向けた、家庭や地域との連携強化が必要とされております。



3月9日～16日に開催された第1回議会定例会で、生沼教育長が平成28年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

時代の変化に伴い人々のニーズや価値観が多様化する中で、住民の皆様が生涯に亘って学び続けるための環境づくりや、まちの活力を高める上において重要となる青年・女性活動の充実等は、これからのまちづくりにには不可欠な要素であり、それらを担う社会教育の役割は一層大きなものになって来ております。

我が沼田町が地方創生を目指し、自律的で持続的な発展をし続ける上

において、教育の果たすべき役割は極めて大きく、教育委員会としてもその事をしっかりと認識しながら、沼田町総合教育計画の目指す「沼田ならではの豊かな学びの実現」に向け、各種施策の展開に全力で取り組んで参ります。

### ★一貫連携教育の推進

この取組みについては、第1期として平成25年度から3年を掛けて進めて来たところですが、この間教員の皆さんの前向きな努力により、小中9年間を見通した系統表の作成や乗り入れ授業、合同授業等の他、合同運動会を始めとする各種交流活動等も精力的に進められ、昨年にはこうした研究の成果を町内外に発信する公開研究大会を開催したところです。

しかし、一定の形を作り上げる迄にはまだまだ至っておらず、更に新年度からの3年間を第2期として、取組みの具体化を進める事としております。

新年度においては、これまで進めて来た乗り入れ授業等の取組みを更に充実させると共に、平成30年に予定している沼田学園（仮称）の開園に向け、「学園化推進委員会」を発足させ、教育目標、教育理念の設定や必要な体制づくりを進める他、「沼田ならではの学び」として新たに設定する「ふるさと沼田学習」、「ハローイングリッシュ（英会話）」や小学生の中学校登校等について、実践と検証を重ねて行く事としております。

また、26年度から道教委の指定を受けて進めて来た「小中連携・一貫教育実践事業」については新年度が最終年となる事から、当事業の成果発表の場として昨年に続き公開研究大会を開催する事としております。前回の反省等も踏まえ、取組みのステップアップに繋がる実り多い大会となります様、関係者一丸となって準備を進めて参ります。

一方、家庭での生活習慣、学習習慣の改善定着に向けた取組みが、保

護者による「家庭地域部会」において精力的に進められており、少しずつではありますが成果が見え始めているところではあります。今後においては体向上やスマホルール等の情報機器使用への対応も含めて、当部会との連携の下、更に努力を重ねて参ります。

なお、これまでのこうした一連の実践研究活動の成果が顕著であるとして、過日沼田小・中学校が空知教育局より「平成27年度空知管内教育実践表彰」をいただきました。この事を大きな励みとしながら関係者一致協力の下、子ども達のより良い成長を目指して参ります。

### ★社会教育の推進

子ども達の健全育成については、小学校との連携を深め、また、児童や保護者のニーズも把握しながら、子ども達の「生きる力」、「学力・体力向上」にも繋がる質の高い保育の展開に努めて参ります。

「子ども交流広場」は、住民の皆様様に「子ども応援団」への登録を呼び掛けつつ、多様な活動を展開しながら、子ども達のより良い成長を目指して参ります。また、家庭や地域

の教育力向上に向け、地域や保護者の皆様を対象に「家庭教育講演会」、「親学講座」を開催する他、子ども達の見守りや声掛け、あいさつ運動等を引き続き展開して行くため、警察や防犯協会、自治振興協議会とも連携しながら「沼田っ子サポーター」や「子ども110番の家」等の体制強化を図って参ります。

加えて、最近活動が停滞傾向にある子供会活動の活性化についても関係者等と検討を進めて行く事としております。

成人教育については、住民の皆さんが心豊かな生活を送るためには不可欠なものであり、特にお年寄りの豊かな知識や経験は、地方創生を進める上での大きな力になるものです。今後「いきいき大学」や「生きがいづくり講座」等の学びの機会を更に充実させ、お年寄りの健康づくり、生き甲斐づくりに繋げて参ります。

また、まちの活力を高めるためには青年や女性の活動を活性化させる事が重要です。そのための「青年活動活性化事業」や「リーダー育成研修」、「女性フェスタ」についても継続して参ります。

この他、芸術・文化振興事業として、

ほろしん温泉エリア内にある「穴窯」を活用した「陶芸体験事業」を新たに実施する事としております。

人口の減少と少子高齢化社会を迎え、我が町が地方創生を実現し、持続的に発展して行くためには、「ふるさと沼田を愛し、世界に向かって羽ばたく人材を育てる学校教育」、「全ての教育の出发点であり、社会全体で支え合う家庭教育」、「活力に満ちた豊かな地域をつくる社会教育」をそれぞれリンクさせながら力強く推進して行く事が重要です。

新年度の教育予算については、町財政も厳しい状況ではありますが、町理事者のご理解の下、最大限の計上をいただきました。課題は山積でありますが、教育の重大な使命をしっかりと自覚し、将来に亘って活力に満ちた沼田町を創って行くために、職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、平成28年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。